



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ヴィラット クリストフ
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	75,770	20.4	3,777	236.9	3,783	134.4	2,521	99.1
2022年12月期第2四半期	62,935	△3.8	1,121	△72.3	1,613	△65.5	1,266	△57.8

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 3,782百万円(4.6%) 2022年12月期第2四半期 3,615百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	26.23	—
2022年12月期第2四半期	13.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	125,133	58,378	46.1
2022年12月期	125,915	55,007	43.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 57,645百万円 2022年12月期 54,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	4.50	—	4.50	9.00
2023年12月期	—	5.50			
2023年12月期(予想)			—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,500	5.9	6,400	62.5	7,200	34.5	5,300	19.8	55.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 2 Q	96,334,226株	2022年12月期	96,292,401株
2023年12月期 2 Q	180,073株	2022年12月期	179,414株
2023年12月期 2 Q	96,130,698株	2022年12月期 2 Q	96,115,689株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13
(参考情報) 個別業績の概要	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ見直しでサービス消費が緩やかに拡大するなど個人消費が持ち直したほか、堅調な設備投資やインバウンド需要から景気は緩やかに回復しました。一方で、円安や資源価格の高騰などによるインフレや、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクも懸念される状況となりました。

米国は、個人消費は堅調に推移していることに加え、インフレ率も低下してきており、景気は緩やかに持ち直しました。中国は、ゼロコロナ政策の解除を受け春先にかけて急速に回復しましたが、個人消費の停滞と不動産市場の悪化、輸出の伸び悩みで経済回復は息切れが見られる状況となりました。アセアンでは、インドネシアは消費マインドの改善も続いて好調な消費が景気回復をけん引しました。マレーシアは消費やインバウンド需要による景気回復が続く一方で、外需の低迷により輸出は低調に推移しました。タイは世界的な需要の低迷を背景に輸出が減少しており、景気回復ペースは緩やかになりました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間においては、主力の日本国内並びにアセアンにおいて、回復傾向にある販売状況から売上高は前年同期比で自動車生産台数ベースの市場成長を上回る増収を確保しました。その結果、日本、アセアンの2つの地域において売上の増減率が市場の成長率を上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間では、売上高は75,770百万円(前年同期比20.4%増)となり、増収による影響や、原材料費等の価格高騰分の転嫁が進展した影響などから、営業利益は3,777百万円(前年同期比236.9%増)、経常利益は3,783百万円(前年同期比134.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,521百万円(前年同期比99.1%増)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

主力の日本国内、アセアンの2つの地域において、半導体の供給制約がほぼ解消し、工場稼働日を減らしていた自動車の生産も回復しつつある中で、売上高は、価格転嫁の影響もあって自動車生産市場の成長を上回る水準を確保し、売上高は71,832百万円(前年同期比20.8%増)、営業利益は3,623百万円(前年同期比274.8%増)となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、カー用品店向けの販売に加えディーラーオプション向けの販売も堅調に推移したことなどから、売上高は4,758百万円(前年同期比12.9%増)となり、営業利益は167百万円(前年同期比8.6%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は125,133百万円となり、前連結会計年度末比で781百万円の減少となりました。有形固定資産が1,249百万円、投資その他の資産が850百万円、それぞれ増加したことなどにより固定資産が全体で2,066百万円増加した一方で、その他流動資産が3,413百万円減少したことなどを主因として流動資産が全体で2,848百万円減少したことによるものであります。

負債は66,755百万円となり、前連結会計年度末比で4,151百万円の減少となりました。固定負債は全体で120百万円の減少とほぼ横ばいで推移したものの、支払手形及び買掛金が3,031百万円、その他流動負債が2,006百万円、それぞれ減少したことなどを主因として流動負債が全体で4,030百万円減少したことによるものであります。

純資産は58,378百万円となり、前連結会計年度末比で3,370百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が2,521百万円あることや、為替変動による影響を主因としてその他の包括利益が全体で1,201百万円増加したことなどによるものであります。

(百万円)

	2022年12月期 (当連結会計年度)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)	増減
資産の部			
流動資産	63,280	60,432	△2,848
固定資産			
有形固定資産	41,656	42,906	1,249
無形固定資産	859	825	△33
投資その他の資産	20,118	20,969	850
固定資産合計	62,634	64,701	2,066
資産合計	125,915	125,133	△781
負債及び純資産の部			
流動負債	58,485	54,454	△4,030
固定負債	12,421	12,300	△120
負債合計	70,907	66,755	△4,151
純資産	55,007	58,378	3,370
負債純資産合計	125,915	125,133	△781

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は2,766百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3,310百万円、減価償却費3,148百万円、売上債権の減少額1,265百万円、賞与引当金の増加1,147百万円等であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額3,762百万円、その他流動負債の減少額1,681百万円等であります。

投資活動の結果獲得した資金は54百万円となりました。有形固定資産の取得による支出が2,946百万円があるものの、それを上回る短期及び長期貸付金の回収が生じたことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は2,145百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出1,106百万円、配当金の支払額432百万円、短期借入金の返済による支出400百万円あること等によるものであります。

キャッシュ・フローの前年同期との比較は以下の通りです。

(百万円)

	2022年6月期	2023年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,529	2,766	237
投資活動によるキャッシュ・フロー	184	54	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,876	△2,145	731
現金及び現金同等物に係る換算差額	286	411	125
現金及び現金同等物の増減額	123	1,087	963
現金及び現金同等物の期首残高	5,720	8,631	2,910
現金及び現金同等物の期末残高	5,844	9,718	3,874

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表したものと修正はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

中間配当につきましては、2023年5月11日に公表いたしました配当予想通り一株当たり5.5円とし、一株当たり1円の増配といたします。

期末配当予想につきましても、2023年5月11日に公表いたしました配当予想の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,631	9,718
受取手形及び売掛金	27,121	26,652
電子記録債権	388	159
商品及び製品	5,438	5,729
仕掛品	2,776	2,353
原材料及び貯蔵品	5,284	5,581
その他	13,698	10,285
貸倒引当金	△60	△48
流動資産合計	63,280	60,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,332	12,250
機械装置及び運搬具（純額）	17,753	18,708
工具、器具及び備品（純額）	2,633	2,851
土地	2,788	2,815
リース資産（純額）	2,983	3,739
建設仮勘定	3,164	2,540
有形固定資産合計	41,656	42,906
無形固定資産		
その他	859	825
無形固定資産合計	859	825
投資その他の資産		
投資有価証券	2,268	2,784
長期貸付金	1,128	741
繰延税金資産	5,569	5,583
その他	11,155	11,861
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	20,118	20,969
固定資産合計	62,634	64,701
資産合計	125,915	125,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,982	33,951
短期借入金	1,400	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,022	1,836
リース債務	541	540
未払法人税等	453	1,002
未払費用	5,112	4,866
賞与引当金	1,113	2,274
役員賞与引当金	36	86
製品保証引当金	1,983	2,061
その他	8,840	6,834
流動負債合計	58,485	54,454
固定負債		
長期借入金	920	—
リース債務	2,892	3,694
繰延税金負債	153	170
退職給付に係る負債	8,182	8,218
資産除去債務	172	164
環境対策引当金	23	23
その他	76	29
固定負債合計	12,421	12,300
負債合計	70,907	66,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,986	8,996
資本剰余金	2,505	2,515
利益剰余金	44,660	46,749
自己株式	△55	△55
株主資本合計	56,096	58,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	95
為替換算調整勘定	41	1,167
退職給付に係る調整累計額	△1,895	△1,824
その他の包括利益累計額合計	△1,762	△560
非支配株主持分	673	732
純資産合計	55,007	58,378
負債純資産合計	125,915	125,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	62,935	75,770
売上原価	52,221	61,192
売上総利益	10,713	14,578
販売費及び一般管理費	9,592	10,800
営業利益	1,121	3,777
営業外収益		
受取利息	87	101
受取配当金	6	5
持分法による投資利益	776	235
その他	12	16
営業外収益合計	882	359
営業外費用		
支払利息	95	56
支払手数料	3	3
為替差損	261	249
その他	29	44
営業外費用合計	390	353
経常利益	1,613	3,783
特別利益		
固定資産処分益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産処分損	179	280
事業構造改善費用	—	198
特別損失合計	179	478
税金等調整前四半期純利益	1,434	3,310
法人税等	125	756
四半期純利益	1,309	2,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,266	2,521

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,309	2,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	920	553
退職給付に係る調整額	39	71
持分法適用会社に対する持分相当額	1,342	598
その他の包括利益合計	2,305	1,228
四半期包括利益	3,615	3,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,504	3,723
非支配株主に係る四半期包括利益	110	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,434	3,310
減価償却費	2,904	3,148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,383	1,147
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	377	74
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△177	40
受取利息及び受取配当金	△93	△107
支払利息	95	56
持分法による投資損益 (△は益)	△776	△235
固定資産除売却損益 (△は益)	179	274
売上債権の増減額 (△は増加)	652	1,265
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,484	112
仕入債務の増減額 (△は減少)	△307	△3,762
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,315	△1,681
その他	457	△557
小計	3,328	3,086
利息及び配当金の受取額	83	112
利息の支払額	△108	△45
法人税等の支払額	△774	△387
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,529	2,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,340	△2,946
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△55	△14
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	2,334	2,547
その他	251	468
投資活動によるキャッシュ・フロー	184	54
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△400
長期借入金の返済による支出	△2,080	△1,106
リース債務の返済による支出	△159	△206
配当金の支払額	△336	△432
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,876	△2,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	286	411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123	1,087
現金及び現金同等物の期首残高	5,720	8,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,844	9,718

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	43,145	3,167	46,313
海外	16,272	348	16,621
顧客との契約から生じる収益	59,418	3,516	62,935
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	59,418	3,516	62,935
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	699	741
計	59,460	4,215	63,676
セグメント利益	966	154	1,120

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,120
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,121

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	52,064	3,538	55,602
海外	19,767	400	20,168
顧客との契約から生じる収益	71,831	3,938	75,770
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	71,831	3,938	75,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	819	820
計	71,832	4,758	76,590
セグメント利益	3,623	167	3,790

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,790
セグメント間取引消去	△12
四半期連結損益計算書の営業利益	3,777

(重要な後発事象)

(子会社株式の売却)

当社は、当社の自動車用ミラーの設計、開発、製造及び販売に関する事業並びに当社の中国ミラー事業を営む特定子会社である市光（無錫）汽车零部件有限公司の出資持分（以下、「本事業」といいます。）を当社の国内ミラー事業子会社である美里工業株式会社（以下、「美里工業」といいます。）に吸収分割した後、当社が有する美里工業の株式をSamvardhana Motherson International Limitedのグループ会社であるSMR Automotive Mirrors UK Limitedに売却することを2022年9月26日の取締役会において決議し、本株式売却にかかる株式譲渡契約を締結いたしました。2023年3月1日付で上記吸収分割が完了し、2023年8月1日付で美里工業の全株式を譲渡しました。本株式譲渡に伴い、美里工業は第3四半期連結会計期間において当社の連結の範囲から除外されることとなります。

1. 本取引の目的

上記の通り、当社のミラー事業並びに中国のミラー事業子会社の出資持分からなる「本事業」を会社分割（吸収分割）の方法により分割し、当社の100%子会社である美里工業に承継させることで、「本事業」の分社化を実施しました。また、その後、当社の保有する美里工業の全株式をSMR Automotive MirrorsUK Limitedに売却することで、「本事業」の売却を実現しました。

当社は、「本事業」の売却により、「本事業」を営む美里工業が、グローバルな対応力や、次世代電子ミラー等の新製品開発能力の強化を図り、中長期的な発展を狙う基盤を築くことができるものと認識しております。同時に、当社グループは、残るライティング事業等への選択と集中を進め、限られた経営資源を重点配分していくことで、更に強い競争力を確保してまいります。

2. 譲渡する相手会社の名称

SMR Automotive Mirrors UK Limited

3. 株式譲渡日

2023年8月1日

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

名称：美里工業株式会社

事業内容：自動車用ミラーの設計、開発、製造及び販売に関する事業等

当社との取引内容：当該子会社と当社とはミラー製品及び原材料等に関わる取引関係があります。

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡する株式の数：610,000株

譲渡価額：約40億円

なお、株式譲渡価額については、当該株式譲渡契約において価格調整条項が付されているため、上記金額は暫定の金額であります。今後、価格の調整が見込まれるため、最終的な株式譲渡価額は変動する予定であります。

譲渡損益：詳細を精査中であり、現時点においては未確定となっております。

譲渡後の持分比率：0%

(個別業績の概要)

1. 2023年12月期第2四半期の個別業績

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	53,448	20.2	2,101	—	2,062	245.0	1,120	139.5
2022年6月期	44,448	△12.3	15	△99.5	597	△80.8	467	△81.3

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	89,683	43,208	48.2	449.31
2022年12月期	92,215	42,494	46.1	442.14

(参考) 自己資本 2023年6月期 43,208百万円 2022年12月期 42,494百万円